ほりえ眞報　１５号

第１５号　０５月０８日　堀江　眞　発行
雲南市吉田町上山７９－１　TEL 0854・75・0236
メール　shin-h@i-yume.ne.jp
URL　http://www.nanushi.com/blog/
雲南市議会議員　眞さんのつぶやき　で検索を。

企業の立地認定３社を認定

４月２８日に開催された議会全員協議会で「**産業振興条例**」に基づく3企業の立地認定が報告されました。この条例は「持続可能な産業を育成し自立できる地域経済の確立に取り組む」ため優良な企業の立地に対して支援をしていくものです。

工場の新設または増設で業績の安定性や信用度等において優良な企業体質であること。公害防止に対して十分な配慮がなされていること。雇用する従業員が５名以上であること。など定められた条件を満たしたもので市長が認めたものとなっています。

助成制度には3年間の固定資産税の免除をはじめ市内からの新規雇用者に対して一人５万円＊3年間の助成。この他、用地取得に対する助成、工場の周りの環境整備に対する助成など様々な制度があります。助成金を支給する際には公平・適正を期するため「審査会」が設けられています。

今回の認定では

日本コルマー（株）加茂町・増設（化粧用調整品等製造）
今後3年以内に十名の雇用増が図られる予定。

フレッシュフーズ山陰（株）加茂町（食品製造業）**新設**
創業時パート含めて三十五人・3年後に八十四名雇用予定。

（株）日進産業・木次町新設（窯業・土石製品製造業）
当初六名採用三年後・十七名の採用予定
この他、現在2企業と市内進出について調整中であることが報告されました。地元雇用の拡大が期待されます。

アシックス西日本操業地内で登録されることになった（株）日進産業。木次町跡

島根の百傑から　雲南が生んだ　天稟（てんぴん）の画才　堀江友聲（ゆうせい）

一八〇二年　大原郡大東村、商森山祐兵衛の次男として生まれる。幼名は　**豊信**。

友聲は一三才の頃松江に出て画道に入り、その後　京都・広島・山口・など諸国を巡遊した。二八才の頃、京都で、日本画四家の一つとされる『海北友徳』の系を継ぎ、この時「**友聲**」と号している。高司家の姫君が徳川家に嫁がれる際の贈り物として「牡丹に白鳩」「白菊に金鶏」を揮毫しています。

京にあって数々の業績を残したが、故あって三一才にして郷里に帰り、外戚の広瀬村　堀江家を嗣ぎ、当初「堀江右膳」と称した。五一歳の時、広瀬藩主『松平直諒』に召し抱えられ、藩士として作画に専念し数々の傑作を残した。彼は酒をこよなく愛し、召されたびたび藩公の晩酌のお相手をしたという。明治６年、広瀬の自邸にて没。七才だった。

友聲は一生を通じて多くの門人を育てています。三刀屋出身の**雲南・黄仲祥**もその内の一人。**友聲**には実子が無く松江の上田家から「仲」を養子に迎え「**友節**」と号せしめた。**友節**は**友聲**自身「及び難い」と言わせるほどの天才だったが、**友聲**没後三年で惜しくも「**友節**」も他界した。**友節**の長男が『**有声**』。その嗣子が『**和声**』で共に画道に精進した。いずれも当地域では高名で人気の高い画家です。

高速道　毛道・松江間　いよいよ本工事に着手

待望久しかった高速道路本線がいよいよ着工される運びとなりました。来る5月28日木次町下熊谷地内で起工式が挙行されます。三刀屋町地内高瀬山工事区で延長１・１２０㎞、同じく三刀屋町地内中野中工事区で１・０７㎞。吉田町地内の県道インター線も発注されました。この他吉田町地内で高速道路関連工事用道路９カ所が一括発注されています。早期の開通が待たれます。一層の御協力を！。

友聲の大作　「木次町尺の内」のふるさと民芸交流館にある屏風絵２双のうちの部分（巨勢進氏蔵）

あとがき　長い冬がやっと終わったと思ったら、春の連休までアッという間にすんでしまいました。季節の変わり目　御身大切にご活躍を。